

10周年記念特別企画
東京都写真美術館コレクション展
 10th Anniversary Commemorative Exhibition
 The Collection of the Tokyo Metropolitan Museum of Photography

How Photography Changed People's Viewpoint
3. Reconstruction
Twelve Photographers and War

東京都写真美術館
 Tokyo Metropolitan Museum of Photography
 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 TEL: 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

2005年7月23日[土]~9月11日[日]

10:00—18:00 (木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

会場: 東京都写真美術館 3階展示室
 主催: 東京都・東京都写真美術館
 協賛: フォト・ギャラリー・インターナショナル
 東京都写真美術館開館10周年特別協賛: キヤノン株式会社/サッポロホールディングス株式会社/株式会社資生堂/株式会社写真弘社/ソニー株式会社/大日本印刷株式会社/凸版印刷株式会社/株式会社日本発色/富士フイルムイメージング株式会社/株式会社リコー (50音順)
 休館日 毎週月曜日 (ただし、7月25日(月)、8月1日(月)は開館)
 一般: 500(400)円/学生: 400(320)円/中高生・65歳以上: 250(200)円
 ※ () 内は20名以上の団体料金 ※ 東京都写真美術館友の会会員は無料
 本展覧会のチケットをお持ちになれば、第4部の展覧会を割引料金にてご覧になれます。

写真はものの見方を どのように変えてきたか

決定版! 写真の歴史展

3 | 再生 |

12人の写真家たちと戦争



大東元 終戦の詔勅放送に泣く女子挺身隊員 1945年 Otsuka Gen Girls Volunteer Squad Member Sheds Tears while Listening to Emperor Hirohito's Declaration of Surrender on August 15th

写真はものの見方を どのように変えてきたか

3 | 再生 | 12人の写真家たちと戦争

<p>小石清 反戦の気持ちる作品 『半世界』に込めた</p> <p>小石清 「半世界」より 舞踏・インフレーション 1940年 KOISHI Kiyoshi Butoh・Inflation, from the series of "Half World"</p>	<p>河野徹 ナチスを逃れた難民「流浪ユダヤ」 を神戸で捉えた前衛写真家</p> <p>河野徹 「流浪ユダヤ」より 荷物 1941年 KONO Toru Luggage, from the series "Wandering Jew"</p>	<p>木村伊兵衛 「報道写真」の先駆者は、 国策宣伝誌「フロンテ」で活躍した</p> <p>木村伊兵衛 東京裁判 1948年 KIMURA Ihei International Military Tribunal for the Far East</p>	<p>林忠彦 戦後のグラフィック・ジャーナリズム を活気づけた</p> <p>林忠彦 「カストリ時代」より 復員(品川駅) 1948年 HAYASHI Tashiro Demobilized Soldiers (Shinagawa Station), Tokyo from the series "Kasutori Jida (Days in the Dregs)"</p>
<p>植田正治 戦争中の在り方に苦悩したが、 山陰で“演出写真”を撮った</p> <p>植田正治 夢のいる砂丘風景 (III) 1950年頃 UEDA Shoji Scene of Sand Dune and My Wife (III)</p>	<p>濱谷浩 戦争中、民俗学に出会い 新潟県高田で傑作「雪国」を生み出した</p> <p>濱谷浩 「雪国」より 鳥追い、歌ってゆく鳥追い 1940-46 HAMAYA Hiroshi Toroi, young people singing to drive away harmful birds, from the series "Snow Land"</p>	<p>桑原甲子雄 戦争ははじまるすぐ前の 「東京昭和十一年」の街の空気を捉えた</p> <p>桑原甲子雄 「東京昭和十一年」より 麹町区馬場先門 二・二六事件当時 1936年 KUWABARA Kinsuichi Near the Imperial Palace, the Day February 26 Attempted Coup d'Etat, Chiyoda-ku</p>	<p>熊谷元一 戦前戦後、「草の根ドキュメンタリー」 で自分の住む農村の記録を行った</p> <p>熊谷元一 「小学一年生」より コッパンをかじる 1953年 KUMAGAI Motoki Munching on French Bread, from the series "First Graders"</p>
<p>中村立行 戦後、美しいヌード写真を追求し、 新境地を切り開いた</p> <p>中村立行 ヌード 1954年 NAKAMURA Raku Nude</p>	<p>大東元 新聞写真家として、 美の表現を追求し技巧派と呼ばれた</p> <p>大東元 終戦の詔勅放送に泣く女子挺身隊員 1945年 OTSUKA Gen Girls Volunteer Squad Member Sheds Tears while Listening to Emperor Hirohito's Declaration of Surrender on August 15th</p>	<p>福島菊次郎 「ピカドン」で広島原爆被害者に会い、 国家の矛盾に気づいた</p> <p>福島菊次郎 「ピカドン・ある被害者の記録(4)」より 1958年 FUKUSHIMA Kikuzo From the series Pikadon: Record of a Victim of the Atomic Bomb</p>	<p>東松照明 少年時代の戦争体験を原動力に 米軍基地を写し始めた</p> <p>東松照明 「チューイングガムとチョコレート」より 横濱 1959-67年 TOMATSU Shomei Yokosuka, from the series "Chewing Gum and Chocolate"</p>

◆開館10周年記念特別企画
 関連書籍販売のお知らせ
 展覧会開催に関連して、担当学芸員の企画・監修による「写真の歴史入門」を好評発売中です。当館のミュージアムショップ、全国の有名書店でお買い求めいただけます。

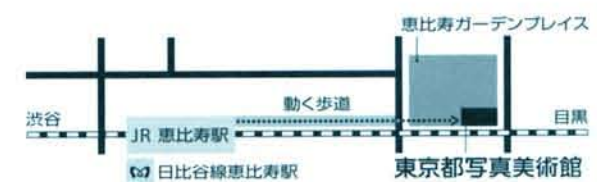


「写真の歴史入門」
 第1部「誕生」/第2部「創造」/第3部「再生」(7/23発売)
 新潮社刊、いずれも1,470円(税込み)

◆フロアレクチャー
 (鑑賞券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。)
 会期中、毎月第2、第4金曜日午後4時より担当学芸員による展示解説を行います。
 詳しくは<http://www.syabi.com>をごらんください。

1930年代前半に成立した報道写真は、戦争が激しくなるに従い軍国主義の中に飲み込まれていきました。国策のプロパガンダに協力しながらも報道写真家たちは、自分が写真家として生きるべき現実を発見しようと模索します。前衛写真とも称されたモダニズムの表現は、戦争の影のなかで閉塞してゆき、優れた芸術表現を実現していた写真家たちは、カメラを持つことすらできなくなります。また戦争中に青年時代を送り戦後になって写真家として活動をはじめた世代の写真家たちもいます。

本展では戦争という受難の時代を生きた12人の写真家たちの作品を通して、1930年代から60年代の日本の写真表現を振り返ります。



次回開催 **4 [混沌]** 2005年9月17日[土] ~11月6日[日]

会場 東京都写真美術館 3階展示室
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 電話: 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

〈交通機関〉
 JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
 当館には専用の駐車場がございません。お車での来館はご遠慮ください。